

# たきこみごはん



全国福祉保育労働組合  
東海地方本部 障害協議会NEWS  
2006, 12, 21  
Vol. 2

11月16日、第9回障害協議会総会が行われました。

阿部内閣が誕生し、憲法改正問題やそこに連なる教育基本法改正のこと、自立支援法だけでなく私たちをとりまく厳しい情勢について考えあい、活動の報告、方針を確認しあいました。当日藤原さんからいただいた、あたたかいメッセージを紹介します。

今年は自立支援法施行ということで、障害分野の職場では本当に大変な一年でした。そのことは私が話すまでもなく、皆さんのほうがよくご存知なのであえて話すことはしません。

私事ですが、福保労の書記局に来て二年になります。自分が現場から見ていた組合活動とはまた違い、中央や愛労連とのからみの中で、つまり大きなうねりをつくっていくところでの活動という考え方が要求され、思うことはいろいろです。でも、そこを見たからこそなお、やはり組合活動は職場（分会）からだなと思います。そして、まさにそういう活動をしている障害協が、私は大好きです。素晴らしいと思います。

児童分野での利用料減免の運動は感動でした。そよ風分会、ちよだ分会が中心となって名古屋市を動かしたといっても過言ではないと思っています。現場の思いが行動となり、周りの要求を束ねていきました。あの時間のない中での署名の集まり、また、連絡をとりあい関係団体と一緒に運動を広げてきたことに、「これぞ福祉保育労働組合！」と思いました。決して書記局始動ではなく、組合員からの運動が実を結んだことに、皆さんの力の大きさを感じました。

めいぼく作業所の一時金の闘いも、保育所分会員が支援し団結の力を感じました。そして大会でその発言を聞いて、すずかけ作業所も、賃下げ分の黒字の還元を要求しようと話し合ったそうです。とても嬉しく思いました。元気の力が波及すること。要求を掲げることは無理なこと、無駄なことではなく、実現しなくても（実現するためですが）それは負けでも失敗でもないと思いました。みなと福祉会の、非正規職員の要求を分会みんなの要求として闘った春闘も、とても感動しました。賃金アップ以上の価値が得られた、そういうものが得られるのが組合活動なんだと実感しました。

障害協が取り組んだアンケート調査の結果がたくさん返ってきました。それだけ職場でつらい思いをしている福祉労働者がいるということだと思います。未組織の仲間を、このすばらしい障害協へ 迎え入れたいと思います。少しでも元気になれると思います。皆忙しいけれど障害協で訪問しませんか？私は喜んでお供したいです。

最後に、書記局をもっともっと利用、活用して下さい。私たちが皆さんに「あれやってこれやって」というのではなく、皆さんが書記局に「あれしたい！これしたい！」とやってきて、悲鳴をあげるくらいがいいと思うのです。運動の提起・活動のアイデア、書記局は案外身近な存在です。みんなで地本をつくりあげていきましょう！

総会のあいさつに代えて

書記局 藤原



○ 障害協議会総会に参加して

本日の業務も定時の5:30には終山する職場を出て地本にむかふのが6:45。でも本日分の記帳は半分残し、同じグループの職員に「このあたりに組合の会議だからとおおし」と言い残して。これが今の現実。でも私は今日とても有意義な2時間をすごすことができた。協議会のみなさんに感謝です!!

「つまた時ぞ外へ!」と先輩に教わり、実行して貰った。いざいざの分会の話が聞けて良かった。近頃はこれでも知らないことはいっぱいある。『予けさびさあは、のあーす未だいじとゆうこと!?』『あーす学園のどよにも高層マンションがT。なんこと!!』『あーすの週35時間労働は絶対守るよ!!』  
(私はその時自分も保護者です)

いろいろな思いが湧いてきました。みんなは保護者かと思いました。総会の時、話題にはた教育基本法と理想の実現は根本において教育の力にまつべき、のまの2つの意味。「待つ」と「俟つ」。家には帰る許書とひばり出し「俟つ」を調へた。『よる。期待する』とありました。この漢字自体知らなかつた。勉強にはたし、この教育基本法でずいと思いた。守らなくは! と思いました。  
(憲法は守る)

自立支援法が施行される見通しの暗い話ばかり。私も4人E支援している身なので、将来に不安はあります。でも、決まらぬ限り働き続けたいと思っております。そのためには、つらいことも楽しいこともとにかく「伝えること」が大切だと思っております。分会にも、スモをどう使って定期発行してほしい。「たきみごほん」というすきなネーミングのコースからも元気を知恵をもらいました。(ありがた) 次号を楽しみにしています。

06.11.16

おはな福社会分會 河田 恵

\*総会のお話、熱い気持ちのうちに書きました。Faxします。

PS 河田さんの文字が温かい!!  
その話使わせていただきます。

「たきみごほん」への  
初投稿!!  
ありがとうございました!



そよかぜ分会 発達センターあつたから呼びかけがありました。

### 発達センターあつたのおひさまを守る会へのご支援・ご協力をお願いします。

発達センターあつた南側土地に高層マンションの建設が計画されています。計画通り建設されると、子どもたちの最も活動的に過ごす午前中、それも寒い冬の時期にまったくおひさまがあたらなくなってしまいます。あつたの親の会と職員はこの計画に、大きな不安を感じています。私たちは、子どもが豊かに育つための環境を守るのはおとなの責任であるという立場から、「発達センターあつたのおひさまを守る会」を結成したいと思います。マンションの建設中止・見直しを求め、名古屋市内で相次ぐ教育施設・保育施設の日照問題を社会問題化しながら、行政への働きかけも進めたいと考えています。

署名にぜひご協力ください。守る会に入会していただける方は  
発達センターあつた681-1178までご連絡ください。

### 風邪なんかふきとぼせ！！

古本屋さんでいい本を見つけました。日野原重明さんが監修した料理の本です。その本を見て最初に作ったのがこれ。おいしくて温まりますよ！

#### 「風邪退治鍋」

白菜と豚バラ肉だけの経済鍋。生姜とにんにくをきかせるので、豚バラ肉も古本屋たっぷり食べられます。家の誰かが鼻をグズグズさせていたら試してみてください！

#### 材料（4人分）

白菜・1株、豚バラ・600g、えのき・2束、春雨・100g  
生姜、にんにく・たくさん入れた方がおいしい

#### 作り方

白菜はざく切りにし、豚バラ肉の薄切りの間に薄く切った生姜とにんにくをできるだけたくさんはさんで香りをつけておきます。土鍋にたっぷりお湯を煮立て、塩をひとつまみとにんにく、生姜を入れて煮、白菜、豚バラの順に入れます。余計なものを入れないほうがおいしいです。薬味は醤油と柚子、レモンなどで。最後は豚とにんにくの味がよく出たのでおじやを楽しみます。からだか汗ばむほど温まり、少々の風邪は吹き飛んでしまいます！

『ちょっと具合のわるいときの食事』婦人之友社 より

一編の詩をあなたに

未知

谷川 俊太郎

昨日までつづけてきたことを  
今日もつづけ今日つづけていることを  
明日もつづけるそのあたり前なことに  
苦しみがないと言っては嘘になるが  
飲びがないと言っても嘘になるだろう  
冬のさなかに春の微風を感じるのは  
思い出であるとともにひとつの予感で  
昇る朝陽と沈む夕陽のはざまに  
ひとひらの雲が生まれまた消え失せるのを  
何度見ても見飽きないのと同じように  
私たちは退屈しながらも驚きつづける

もしも嫉妬という感情があるのなら  
愛もまた存在することを認めればいい  
足に慣れた階段を上り下りして  
いくたびも扉をあけたてしごみを捨て  
ときには朽ちかけた吊橋を渡って  
私たちは未知の時間へと足を踏みこむ  
どんな夢も予言できぬ新しい痛みを負いつつ

<編集後記>

もうすぐクリスマス、そしてお正月。年度の途中だけど、心のなかにスタートラインを引きなおし、新しい年を迎えたいです。仲間のなかで働けることに感謝しつつ・・・。k

みなさんの投稿をお待ちしています。

E-mail takikomigohan06@yahoo.co.jp

FAXは (052) 792-7258

発達センターちよだ 稲垣 馨まで